



『広大システム改革による女性研究者活躍促進』シンポジウム ～活躍する女性科学者からの メッセージ～

日時 平成23年3月17日(木)

場所 ホテルグランヴィア広島 悠久の間(4F)

目的 このシンポジウムでは、アメリカと日本のそれぞれの国における女性研究者の歩みと現状、そして将来への課題についての講演と、第一線で活躍する女性研究者の体験談から、女性研究者が増え、科学の世界で活躍することの社会的意義について、参加者のみなさまとともに考えてみようと思います。積極的なご参加をお待ちしております。

主催者挨拶 浅原 利正 (広島大学長)
(14時00分～)

基調講演I
(14時10分～)



アン・ナリー (キャメロン大学化学科教授/2006年アメリカ化学会 会長)
「アメリカにおける女性科学者の過去・現在・未来」

〈休憩 15時00分～15時10分〉

基調講演II
(15時10分～)



郷 通子 (前お茶の水女子大学長/2000年～2001年日本生物物理学会 会長)
「日本における女性科学者の過去・現在・未来」

〈休憩 16時00分～16時10分〉

特別講演
(16時10分～)



高橋 淑子 (奈良先端科学技術大学院大学 教授)
「猿橋賞への道のりと女性科学者の現状」

ディスカッション (16時40分～17時00分)

●コーディネーター

相田美砂子 (広島大学大学院理学研究科教授/学長補佐・競争的資金獲得戦略室長)

情報交換会 (17時15分～) ホテルグランヴィア広島 曙光<21F>(参加費 6,000円)

主催

広島大学

広島大学男女共同参画推進室

URL <http://www.hiroshima-u.ac.jp/sankaku/>

お申し込み・お問い合わせ

広島大学男女共同参画推進室

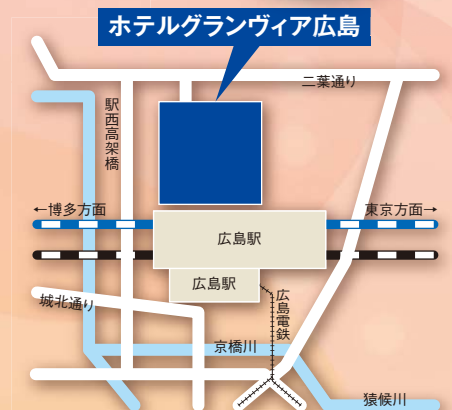
TEL・FAX 082-424-4355

メールアドレス gender-eq@hiroshima-u.ac.jp URL <http://www.hiroshima-u.ac.jp/sankaku/>

シンポジウムのお申込みは、ホームページをご覧の上3月3日(木)までにお願いいたします。

託児室あります ご希望の方は3月3日(木)までにご連絡ください(無料)

入場無料
託児あり



講演者プロフィール



アン・ナリー (Elizabeth Ann Nalley)

経歴

ミズーリ州出身オクラホマ州立大学で修士、テキサス女子大学で博士の学位取得(放射線化学)。キャメロン大学講師、助教授を経て、オクラホマ州キャメロン大学初の女性教授となる。2006年には、アメリカ化学会(American Chemical Society)の初の女性会長。

キャメロン大学功労賞、アメリカ化学会ヘンリーヒル賞など多数。

専門分野 分析化学



郷 通子 (Go Mitiko)

経歴

福岡県出身。お茶の水女子大学卒業、名古屋大学理学研究科博士課程修了(理学博士)、コーネル大学研究員、九州大学助手を経て名古屋大学教授、長浜バイオ大学教授・学部長、お茶の水女子大学学長を歴任。2000年には日本生物物理学会初の女性会長に就任。「タンパク質のモジュール構造とゲノム構造の相関に見るタンパク質デザインの原理に関する研究」で内藤記念科学振興賞(2002年)、中日文化賞(2004年)受賞。

現在、大学共同利用機関法人「情報・システム研究機構」理事、名古屋大学名誉教授。

専門分野 生物物理学、生体生命情報学



高橋 淑子 (Takahashi Yoshiko)

経歴

広島県出身。広島大学卒業、京都大学理学研究科博士課程修了(理学博士)、フランス・発生生物学研究所(CNRS)、オレゴン大学各研究員を経て、北里大学専任講師、奈良先端科学技術大学院大学助教授、理化学研究所発生再生科学総合研究センター・チームリーダーを歴任。

2010年、「動物の発生における形作りの研究」で第30回猿橋賞受賞。

現在、奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科教授。

専門分野 分子発生生物学

コーディネーター



相田 美砂子 (Aida Misako)

経歴

横浜市出身。お茶の水女子大学卒業、お茶の水女子大学大学院理学研究科修士課程修了。理学博士(東京工業大学)。国立がんセンター研究所研究員を経て、1998年に広島大学理学部教授。広島大学男女共同参画推進室長(2008-2009)。日本化学会中国四国支部長(2008)。

現在、広島大学大学院理学研究科教授、学長補佐・競争的資金獲得戦略室長。

専門分野 量子化学